

# うちなだ 議会だより

Vol. 120

平成27年〔2015〕  
2月5日 発行



内灘町消防団 出初め式

## 子育て支援No.1を目指して 12月定例会 ②

政治倫理審査会を設置 ⑤

委員会レポート ⑥

一般質問 —10人が登壇— ⑦

ありゃ～どうなったがいね～ ⑱



# No.1

第2回 定例会  
12月会議  
9日～18日

定例会

委員会

一般質問

意見書・請願

追

跡

## を目指して

平成26年第2回定例会12月会議が開催され、補正予算4件のほか、条例8件、指定管理者の指定2件、規約の変更1件の計15件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。平成26年度一般会計では、9495万円を追加し、総額は93億4087万円となりました。

### 医療費



・子どもの医療費

1,200万円

年齢を18歳まで拡充したことによる申請の増

### 学校教育



・通学バス

370万円

白帆台地区児童数増加による通学バスの増便

### 補正予算

(全員賛成)

#### ・公共下水道事業特別会計

消費税の確定等により304万円を減額し、総額11億7346万円としました。

#### ・国民健康保険特別会計

交付金の確定等により27万円を減額し、総額32億1093万円としました。

#### ・後期高齢者医療特別会計

納付金の確定等により165万円を追加し、総額2億2905万円としました。

### 規約

(全員賛成)

#### ・金沢市・かほく市・津幡町・内灘町消防通信指令事務協議会規約

地方自治法の一部改正により、協議会の根拠条文が変更されたことによる改正。

### 指定管理

(全員賛成)

#### 公共施設管理者の指定

管理者

・一般財団法人

内灘町公共施設管理公社

施設名

・福祉センター(憩)

(平成27年度)

管理者

・特定非営利活動法人

スポーツクラブプラッツウ

ちなだ

施設名

・体育施設(総合体育館、総合

グラウンド、武道館、鶴ヶ丘テ

ニスコート、弓道場、向粟崎体

育館、勤労者体育センター)

(平成27年度～29年度)

# 子育て支援

定例会  
委員会  
一般質問  
意見書・請願  
追跡

## 児童奨励金

- ・ひとり親家庭等児童奨励金 **110万円**

支給対象者の増による増額

## 保育

- ・私立保育園運営費 **3,200万円**

未満児の増加に伴う運営費の増額

## その他の事業

- ・障がい者の自立支援給付費 **2,800万円**
- ・ // 児童福祉給付費 **460万円**
- ・腎臓・心臓等の更生医療費 **700万円**
- ・道路の補修や街路樹の剪定等 **200万円**
- ・北陸新幹線開業に向けた町PR事業 **60万円**

### 通年議会

(全員賛成)

平成27年に通年議会の試行を継続するため、定例会の回数を年4回から年2回とする。定例会の招集月を3月、6月、9月及び12月の年4回から、3月及び6月の年2回とする特例を附則で定める。

**11月会議** 11月28日

専決処分の承認 (全員賛成)

- ・一般会計補正予算

衆議院議員総選挙費用を1340万円追加し、総額92億3097万円としました。

補正予算 (全員賛成)

- ・一般会計

人事院勧告に伴う町職員の給与改定等により1495万円追加し、総額92億4592万円としました。

- ・介護保険会計

人事院勧告に伴う町職員の給与改定等により17万円追加し、総額16億4177万円としました。

### 条例の改正

- ・議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例 (賛成多数)
- ・常勤の特別職の職員の給与に関する条例 (賛成多数)
- ・教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例 (賛成多数)
- ・一般職の職員の給与に関する条例 (全員賛成)

# 条例の 制定 & 改正

内灘町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

**主な内容**

家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業の職員数、資格要件、設備面積、食事提供等の基準を定める。

内灘町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

**主な内容**

認定こども園、幼稚園、保育所、家庭的保育事業等の利用定員、利用者への説明及び同意、教育・保育の取扱方針、運営規程等の基準を定める。



内灘町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

**主な内容**

学童保育クラブの職員数、資格要件、支援単位、設備面積、開所時間・日数等について基準を定める。

内灘町国民健康保険条例の一部を改正する条例

**主な内容**

出産育児一時金の総額42万円は維持される。出産育児一時金の額を39万から40万4千円に改め、産科医療補償制度の掛け金は3万円から1万6千円に引き下げる改正。

内灘町温泉スタンド使用料条例を廃止する条例

**主な内容**

平成2年度に設置した、内灘砂丘放水路温泉スタンドについて老朽化及び衛生管理が困難等のことから廃止する。

内灘町地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例

**主な内容**

第1号被保険者の人数が、概ね3千人以上6千人未満の場合、保健師1人、社会福祉士1人、主任介護支援専門員1人、または、それぞれこれに準ずる者を配置する。



内灘町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

**主な内容**

条例名に同じ

内灘町指定地域密着型サービスマスター及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

**主な内容**

指定介護予防支援事業者の指定をしてはならない場合について条例で定めるに当たり必要な事項を、既存の条例に追加し、合わせて、条例名を改める。



# 水口議員に対して 政治倫理審査会を設置 すべての事項で違反と認定

## 審査請求の提出

平成26年12月2日、内灘町議会議員政治倫理条例の規程に基づき、八田外茂男議員・能村憲治議員から水口裕子議員を審査対象者として、内灘町議会議員政治倫理条例に違反しているとの調査請求が議長に提出されました。

## 審査請求の内容

違反する疑いがあると認められる該当条文

### 政治倫理条例第3条第1号

いやしくも町の名誉を傷つけるような行為をしないこと。

### 政治倫理条例第3条第2号

町民全体の代表者としてのその品位と名誉を損なう一切の行為を慎み、その職務に関し不正の疑いをもたれる恐れのある行為をしないこと。

### 政治倫理条例第3条第5号

町職員の公正な職務を妨げ、その権限もしくはその地位による影響力を不正に行使用するよう働きかけないこと。

## 調査事項

### ① ステップ教室

教育センターのステップ教室職員が前年通り2人態勢であると確認したにも関わらず、自身が発行する「みずの輪便り56号」にて「1人態勢となった」と虚偽の事実を町民に広く公表した。

### ② 内灘海岸

平成26年5月総務産業建設常任委員会で「内灘海水浴場で、砂にはまった車を善意で救出した人に文句を言ってる」3者が金を巻き上げている「警察に通報しても動いてくれない」との内容を発言し、町民と警察を巻き込む事態へと発展した。

### 津幡警察署は、議員からの

発言を重く受け止め、徹底的な追跡調査をおこなったが、発言された事実(事件)や通報記録はなかった。

事実調査を怠り、町や警察の信頼を揺るがす虚偽の内容を公表した。

### ③ プラッツうちなだ

平成26年6月会議一般質問で、議会事務局長から「職員が特定される質問はすべきでない」との忠告を受けたにも関わらず、質問をおこなった。プラッツうちなだでの職務内容について調査研究を怠り、「勤務時間中にサッカーを教えている」など虚偽の事実を公表し、職員個人の能力に関して発言した。

### ④ 女性の政治参加を考えるシンポジウム

昨年7月に開催された同シンポジウムで、パネリストとして参加した水口議員は、障がい者や女性に対する議会一般質問にふれ、「支持者がふえるからか最近は何問も議員も多い」と発言したことが、翌日の中日新聞に報道された。

これは障がい者と女性について真摯に取り組む議員の名誉を傷つけるだけでなく、町議会の信頼を失墜させるものであり、あわせて障がい者と女性の方々への軽視ともとれる発言である。

## 政治倫理審査会を設置

- 会長 中川 達
- 副会長 恩道正博
- 委員 渡辺 旺・北川悦子  
生田勇人・太田臣宣

## 審査会の経過

### 第一回 (平成26年12月12日)

- 調査内容と関係条例の確認
- 審査の進め方の確認

### 第二回 (平成26年12月17日)

- ステップ教室の件

### 第三回 (平成27年1月19日)

- 内灘海岸の件

### 第四回 (平成27年1月23日)

- プラッツうちなだの件
- 女性シンポジウムの件

これまで4回の審査会を開催し、関係者から事実関係の確認をおこない審査した結果、すべての事項で違反行為があると認定しました。

1月中旬に審査会での調査結果を取りまとめ、議長に報告する予定です。

これまで、水口議員が発行する広報紙の内容で議長から2度の厳重注意を受けており、また議会での度重なる疑わしい発言にも議会運営委員会が発言の訂正を求めてきました。

浸水対策

問 鶴ヶ丘排水区雨水整備計画の中で、既存農地を調整池として利用できないか。

答 今後、実施設計等の中で検討したい。

ゆうきの里

問 河北潟ゆうきの里に山積みとなっている堆肥を、干拓地内の農業者に無料配布し、有効活用できないか。

答 今後、ゆうきの里と協議したい。

コンビニ収納

問 住民情報システム更新時に税及び上下水道料金等各種料金のコンビニ収納、クレジット等の導入を検討せよ。

答 町民の利便性向上のために、システム更新時に検討したい。



鶴ヶ丘排水区

総務産業  
建設常任  
委員会

温泉スタンド

問 内灘町温泉スタンド廃止後の施設は、どのようなになるのか。

答 当面は現状のまま、「使用禁止」等の看板を設置する。

特認校

問 西荒屋小学校の小規模特認校の応募状況はどうなっているか。

答 現在2名の申請がある。いずれも白帆台の方で、教育委員会で承認後、1月下旬に入学許可書を送付する。

認定こども園

問 認定こども園に入園者の偏りができた場合どのようなになるのか。

答 町では、保育園や保護者と調整し対応していく。  
(P9に関連記事)



西荒屋小学校

文教福祉  
社常任  
委員会



視察レポート

平成26年10月21日~23日

- 東京
- 愛知県大口町



広報特別  
策対  
委員会

○町村議会広報研修に参加  
・1日目は文章の構成や紙面デザイン、写真の使い方などを専門の先生方から学びました。  
・2日目は分科会において、当町の議会だよりを具体的に評価していただきました。

○愛知県大口町議会を視察  
・大口町議会だよりは「わかりやすく」をモットーに難しい言葉や役所言葉は使わないこととしており、発言内容は可能な限り「ありのままに」を心がけていました。どちらも当たり前のことなのですが、つい専門用語などを使ってしまいがちになるので、これからは気配りのできる紙面づくりを心がけていきたいと思えます。

# 一 般 質 問

# 市 政 も 問 う

## 10人が登壇

### 中島 利美 議員 ..... 8

- ・ライトアップ完全修復を
- ・恋人の聖地について ほか2問

### 太田 臣宣 議員 ..... 9

- ・認定こども園を推奨するのか
- ・継続的な公共事業確保について

### 清水 文雄 議員 ..... 10

- ・コミュニティバス今後の計画は
- ・コンフォモールを道の駅に ほか3問

### 水口 裕子 議員 ..... 11

- ・国の原子力防災訓練に参加せよ
- ・東京大学との共同研究の今後について ほか5問

### 能村 憲治 議員 ..... 12

- ・消雪整備の計画を示せ
- ・街路樹等、落ち葉清掃について ほか1問

### 藤井 良信 議員 ..... 13

- ・町の総合戦略計画を
- ・地方中枢拠点都市圏の形成について ほか2問

### 恩道 正博 議員 ..... 14

- ・新エネ補助金見直しは
- ・公共施設等の老朽化対策について

### 生田 勇人 議員 ..... 15

- ・(仮称)白帆台小学校の開校時期は
- ・教室内の学習環境について ほか1問

### 北川 悦子 議員 ..... 16

- ・リフォーム助成の継続を
- ・インターチェンジの整備方針について ほか2問

### 夷藤 満 議員 ..... 17

- ・街なみ整備 積極的な指導を
- ・内灘海岸について ほか1問



中島 利美 議員

# ライトアップ完全修復を 国・県と協議を進める



色とりどりの輝きを

**問** サンセットブリッジが13年前に完成したとき、町民は北部の発展や未来に思いを馳せていた。

しかし、現在はカラーチェンジャーが故障し、建設当時のライトアップの面影はすっかり消えてしまった。

部品も今では一部調達不可能となっており、修理には限界がある。

北陸新幹線開業を見据え、町のシンボルになるよう完全修復工事を考える時期に来ているのではないか。

**答** 町の均衡ある発展を進める上で、重要な役割を果たすサンセットブリッジが、町民の長年の悲願で平成13年に完成した。

町の魅力アップやシンボル施設として重要なものと捉えている。

今後、LED灯具でライトアップができないか調査しており、改修費用に係る財源においても国の補助対象事業にならないか、国及び県と協議を進める必要がある。設備の改修は早急に調査研究を進めたい。

## 恋人の聖地

**問** どこにあるのか全くわからない。誰が見てもわかるように工夫せよ。

**答** 利用者にわかりやすい効果的な設置場所、表示方法などを検討したい。

**問** イベントの企画や開催など、若者の意見を取り入れるなど努力せよ。

**答** 来年早々、第4代目「恋人の聖地キャンペーン隊」の募集を計画している。町観光協会とともに検討していきたい。

## 商業誘致

**問** 以前から数多くの商業誘致がうわさされ、そのたびに落胆してきた。現在はどうなっているのか。

**答** 地元町会とも緊密な協議を持ちながら、インターの設置も含め、商業施設の積極的な誘致活動を進めていきたい。

## ドッグラン



道の駅（織姫の里なかのと）

**問** コミュニケーションが希薄になっている現代に、ペットを通じて知らない人同士が、世代を越えて交流できるコミュニティの場が必要だ。

町の集客・経済効果も期待できるドッグランを総合公園内に設置せよ。

**答** 総合公園は、国の交付金を受け整備を進めており、計画の中にドッグランは含まれていない。

県内には、集客能力の高い施設が数多くある。ドッグラン設置は管理面などの課題も多く、今後調査研究を進めたい。



太田 臣宣 議員

# 認定こども園を推奨するのか 円滑な移行を支援する

**問** 平成27年4月から子ども・子育て支援法施行により認定こども園への移行が想定される。町は、移行についてどのように考えているのか。また認定こども園を町の民間保育園に推奨していくのか。

**答** 認定こども園は、幼稚園と保育所の両方のよさをあわせ持った施設である。各保育園や幼稚園が認定こども園へ移行する場合には、施設と連携をとりながら円滑な移行を支援していく。

**問** 町立の向栗崎と北部保育所の移行はどのように考えるか。

**答** 今後、社会情勢や保護者が求める保育ニーズを十分注視し検討したい。

**問** 認定こども園に希望者が集中し、入園できない場合も想定されるのではないか。

**答** 希望者が定員を超える場合は、保育の必要性を優先的に調整する。利用できない児童は、他の保育園、幼稚園の利用となる。



よりよい保育環境を（大根布保育園）

**問** 移行することにより、幼稚園や町立保育所の職員の増員は必要か。

**答** 免許資格取得の特例により、保育士資格または幼稚園教諭免許を有していれば5年間は保育教諭とみなすので、平成31年度までは児童数に対する職員の増員はない。

**問** 一律の保育サービスを提供する上でも、町として資格取得の補助の検討が必要である。

**答** 3 大学で幼稚園教諭免許取得の特別講座が実施される。現在、受講希望者を取りまとめている。

**問** 県内での資格取得は可能なのか。

**答** 国の制度や県の動向を見据え、町独自の施策も視野に入りたい。

**問** リフォーム助成事業において町の経済効果は。

**答** 現時点の全体契約金額で約2億9100万円と商工会共通商品券及び現金交付額2181万円も経済効果につながる。

## 公共事業

**問** 投資的事業で、ここ数年の予算執行状況は。

**答** 土木費の工事請負費の決算額等で、平成24年度と比較して、25年度は3・4倍、26年度は6倍となっている。

**問** 継続的な事業やサービスを提供するためにも健全な財政運営が必要だ。

**答** 過去3年の健全化判断比率も、国の基準を大きく下回っており、町の財政は健全である。

**問** 事業の継続を、町はどう考えるのか。

**答** 目的は達成したと考えており、次年度への継続は考えていない。

**問** 地元の商工業が元気になることが町の元気に直結していくと考える。

**答** 継続的な公共事業を確保し、地元商工業の育成支援に努めたい。



清水 文雄 議員

# コミュニティバス今後の計画は 28年度に新ルートで試行運転



県内トップのなだバス・ナデイ

**問** コミュニティバス「なだバス・ナデイ」年間の利用者は、平成25年度が12万3951人で、人口に対する利用者割合4・58倍は県内トップである。

**答** 現在、課題や問題を整理するため基礎データ収集等をおこなっている。今後、アンケート調査など、町民と議会の意見を聞き、平成27年度には増車増便の有無を含め、運行ルートや時間帯の見直し案をまとめ、関係機関で審議し、平成28年度には新ルートで試行運転したい。

**問** のと里北海道は、当町が起点となっている。周辺にはコンフォモール内灘、全国に誇れる内灘海岸や内灘砂丘、また内灘闘争遺跡である米軍試射場の監視棟、さらに温泉施設・宿泊施設もある。

**答** 現在の道の駅は、指定管理者制度を活用し管理運営をおこなっている。今後、地域の拠点として、町の観光・産業振興にぎわいの創出を図る上で、機能の強化や充実が必要だ。

**問** 内灘高校横の準幹10号線は、清湖小学校への通学路となる。子どもたちの安全確保のため、早急に整備せよ。

**答** 平成27年度までに用地買収を終わらせたい。その後、28年度に調査設計、29年度以降の整備を目指す。

## 道の駅

## 道路整備

## 観光案内



カレー&スイーツ選手権（金沢駅）

**問** 現在の道の駅は、指定管理者制度を活用し管理運営をおこなっている。今後、地域の拠点として、町の観光・産業振興にぎわいの創出を図る上で、機能の強化や充実が必要だ。

**答** 現在、課題や問題を整理するため基礎データ収集等をおこなっている。今後、アンケート調査など、町民と議会の意見を聞き、平成27年度には増車増便の有無を含め、運行ルートや時間帯の見直し案をまとめ、関係機関で審議し、平成28年度には新ルートで試行運転したい。

**問** 内灘高校横の準幹10号線は、清湖小学校への通学路となる。子どもたちの安全確保のため、早急に整備せよ。

**答** 平成27年度までに用地買収を終わらせたい。その後、28年度に調査設計、29年度以降の整備を目指す。

**その他の質問項目**  
・町保育料の徴収基準



水口 裕子 議員

# 国の原子力防災訓練に参加せよ 参集範囲は国が決定

**問** 志賀原発の過酷事故を想定した国の原子力防災訓練に、町はどのようにかかわったか。

**答** 30km圏内を対象のため、当町は直接かかわっていない。

**問** 国の避難訓練に状況把握のため、見学などするべきだったか。

**答** 参集範囲は国が決定すべきことである。

**問** 備蓄されているヨウ素剤は、緊急時にどのように配布されるのか。国の訓練でも、この点が抜け落ちていたか。

**答** 内灘町地域防災計画に基づき、国・県や専門機関の指導のもと安定ヨウ素剤の服用に関し、パンフレット等を用いて、注意事項について説明し配布したい。



東大の中間報告会

## 共同研究

**問** 東京大学と町との共同研究は、全国的にも珍しい1町会に1公民館という地域資源と東京大学の持つ知的資源とが協力し合う、またとない事業であり、これからの長寿社会を乗り切るため、また町民生活の向上や誇りづくりにもつながる。この成果を、どのように広げていくのか。

**答** 今年度で3年間の共同研究期間が終了するが、3つのモデル公民館で実施されたこの事業の成果を生かし、これからの社会状況に対応した地域コミュニティづくりを生かせるようサポートしていきたい。あくまでも中間報告であり、最終報告に向けて周知していきたい。

## インターチェンジ

**問** 白帆台インターは、南部地区にも意見を聞くべきだ。

**答** 全地区説明ではなく、議会等にも説明しながら、広報等で周知していく。

**問** 都市計画マスタープランはいつ完成するのか。

**答** 北部地区基本構想を策定し、それを反映させ、平成27年度に策定する。

**問** 将来フルインター化を目指しているのか。

**答** 現在考えていない。将来、要望があれば手戻りのない計画にしたい。

## 社会福祉協議会

**問** 社会福祉協議会に専任の局長を置け。

**答** 人事は社協が決定すべき事項である。

## タウンミーティング

**問** タウンミーティングや談話室など、町民との情報交換の場をつくれ。対話不足ではないか。

**答** 昨年度に引き続き座談会形式で開催する。町長はイベントや行事に積極的に出席し、町民との対話に努めている。

## 文化財指定

**問** 内灘闘争にかかわる施設跡地の町文化財指定進行状況を示せ。

**答** 県と土地の管理委託契約を結ぶ内諾を得た。

## 歌碑

**問** 「歌集内灘」の著者、芦田高子氏の親族から、歌碑建立の申し出がある。

**答** 町有地での建立に向け協議したい。

# 消雪整備の計画を示せ

## 3年事業で整備



能村 憲治 議員



整備された向陽台の道路

**問** 今年度アカシア、向陽台地区の主要道路や清湖小学校周辺の通学路に消雪装置が整備された。

夕陽ヶ丘苑から千鳥台までの準幹1号線や鶴ヶ丘西2号線、4号線も主要道路であり整備が望まれるが、町の考えを問う。

**答** 当該町道は、幹線・準幹線・坂道・通学路など利用度の高いところを整備決定する。  
国の交付金を活用するため、事業費を平準化し、今年度から3ヶ年事業として計画した。

**問** 今年度の工事距離と町道の消雪装置設置率を示せ。

**答** 今年度は1・6 kmを整備した。総延長は31・6 kmとなり町道150・6 kmに対し21%となる。

**問** 休止井戸を消雪整備に利用する考えはないか。

**答** 休止井戸は10本あり、そのうち2本は既にご利用している。今後4本の利用を計画しており、残りの4本は水量が少なく難しい。

### 街路樹

**問** 樹木が落葉する10月下旬から12月にかけて、街路の清掃が住民の負担になっている。

町全体の高齢化が進んでおり、町にも苦情が寄せられている。この現状をどう考えるか。

**答** 町では状況に応じて街路樹のせん定作業を実施していく。  
住民の皆様には、これまで通りの清掃協力をお願いしたい。  
今後、高齢化社会に向けて、住民相互が協力し合える施策を調査研究していく。

### 合葬墓

**問** 平成25年12月のアンケート調査結果では34%が合葬墓を希望している。今年度、整備計画の実設計に取り組んでいるが、建設の工程や規模、工事費用を問う。

**答** 平成27年夏までに着工する予定。  
規模は鉄筋コンクリートで広さ40㎡とし、納骨室に約300体、埋蔵室に680体を収納できる。建設費は約4500万円と試算している。



街路樹のせん定作業

**問** 工事の完成時期と、受付開始はいつ頃なのか。

**答** 平成28年3月完成。受付開始は同年4月からの予定だが、できるだけ早く受付開始を目指す。

**問** 納骨室や埋蔵室の使用料はいくらか。また対象となるのは町民なのか。

**答** 納骨室は1体につき13万5千円で、埋蔵室は7万円を予定。対象は町民に限定したい。



藤井 良信 議員

# 町の総合戦略計画を 策定に向け取り組む

**問** 国では地方創生法の成立を受け、総合戦略策定を計画している。地方版の計画策定は努力義務として盛り込まれるが、町の主張はしっかりと町内外に主張していくべきであり、内灘町総合戦略策定を導入すべきである。

**町の考えを問う。**

**答** 市町村での策定計画は地域のまち・ひと・しごと創生に関する目標や、市町村が講ずべき施策に関する基本的な方針などが定められている。今後、国・県の総合戦略の内容を吟味し、魅力的で活力ある町として維持・発展できるように町の戦略策定に向けて、積極的に取り組む。

## 地方中枢拠点都市

**問** 金沢市を地方中枢拠点都市とする近隣市町との連携や、その圏域全体の将来像並びに経済をけん引し、住民全体の暮らしを支えていくため、連携協約の締結が求められている。

地方中枢都市圏の形成にかかる町の認識と、取り組みの考えを示せ。

**答** 金沢市が拠点都市となる要件を備えており、現在当町を含めた周辺市町において、地方中枢拠点都市圏について鋭意協議をおこなっている。柔軟で有機的な市町連携がこれからの地方行政には有効であり、しっかりと取り組んでいきたい。



## 地域おこし協力隊

**問** 人口流出を防ぐ有効な手立てとして、地域おこし協力隊※への認識は。

**答** 大都市圏内の人材を積極的に受け入れ、地域の活性化につながる取り組みであると認識する。

**問** 地域おこし協力隊の定住状況について、総務省のアンケート調査結果を示せ。

**答** 制度を導入した自治体のうち、全体の8割が「実施してよかった」と回答している。

**問** 地域おこし協力隊の採用を望むが、町の考えを示せ。

**答** 協力隊にどのような活動を求めるかを明確にすることが大切であり、課題を整理し検討する。

## 農産物六次産業化

**問** 内灘砂丘での農産物六次産業化の取り組みとして、ユリ園の計画を提案する。

**答** 植え付けから収穫まで4、5年は必要になる。土地確保の課題もあり、干拓地も視野に入れ、地域おこし協力隊の導入を含めて調査研究する。





恩道 正博 議員

# 新工ネ補助金見直しは 県内初の家庭用蓄電池を助成

**問** 平成17年度から住宅用太陽光発電を対象に新工ネ・省エネシステム設置に補助金を設けた。現在は太陽熱や小型風力発電など7種類を対象としているが、近年は太陽光発電やエコキュート・エコジョーズの申請がほとんどを占めている。今後、家庭用蓄電池や家庭用エネルギー管理システムに対して補助金を検討し、申請実績の少ないものを見直す考えはないか。

**答** 人にも地球にも優しいまちを目指す町として、国の補助に合わせた家庭用蓄電池や家庭用エネルギー管理システムに対して補助ができないか、前向きに検討したい。

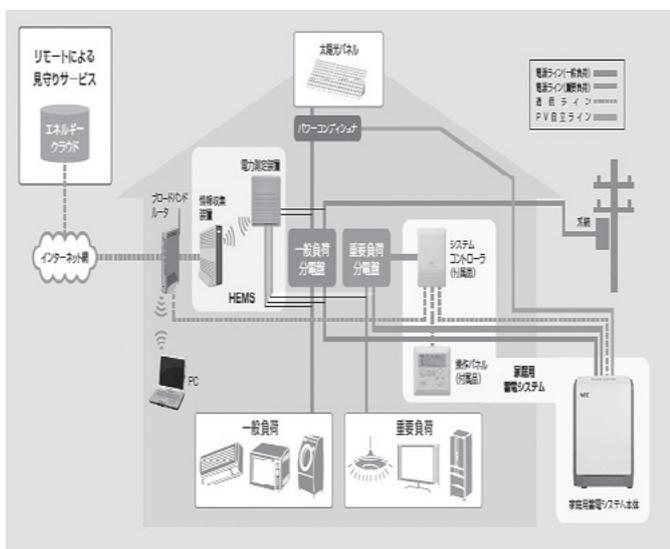
また、現在の補助対象で申請件数の少ないものは見直しをおこなう。

## 施設管理計画

**問** 総務省は公共施設等の老朽化対策として、全体的状況を把握し、長期的視点で更新・統廃合・長寿命化などの計画をおこなうことで財政負担の軽減や平準化をすると共に、公共施設等の最適な配置を実現するため、公共施設等総合管理計画を策定するよう通達している。町の取り組み状況はどうなっているのか。

**答** 公共施設の老朽化対策として、平成19年度に内灘町耐震改修促進計画を策定し実施している。また、各施設の長寿命化計画等も策定し、管理している。

当町での公共施設等総合管理計画は、全庁的な取り組み体制を構築し、現状分析を踏まえ、できるだけ早い時期に策定しなければならない。



蓄電システムの構成図

**問** 公共施設等の管理は、財政負担にもつながってくる。町での一元化管理が必要だ。

**答** 公共施設等総合管理計画※をもとに、町民の安心安全とサービス向上を図り施設の更新、統廃合などを計画的に実施し、一元的な部署での管理のもと、公共施設の最適な配置を実現したい。



耐震計画が必要な文化会館

※公共施設等総合管理計画とは、地方公共団体が所有する全ての公共施設等を対象に、地域の実情に応じて、総合的かつ計画的に管理する計画。





生田 勇人 議員

# (仮称) 白帆台小学校の開校時期は 平成 30 年度開校予定



年々増便されるスクールバス (大根布小)

**問** (仮称) 白帆台小学校の新設は、「内灘町立小学校及び中学校通学区(域審議会)」から、宮坂・白帆台を通学区とする答申書が、平成25年5月に提出された。

**答** 平成30年4月に両地区を合わせた児童数が399名に達すると予測しており、平成31年4月には大根布小学校の教室が不足する。  
現在、県を通じ文部科学省と事前協議をしており、早ければ開校は平成30年となる。  
そのため来年度には設計に着手し、平成28・29年度に建設工事をおこなう計画である。

## 教室への冷房設備

**問** 国の学校環境衛生基準では、夏期は25度から28度が最も望ましい教室温度とされている。  
町内小中学校の教室内は学習に適した環境か把握しているか。  
全国的に公立学校への冷房設備設置率が上昇している中、よりよい学習環境構築のため、小中学校教室へ冷房設備を設置する考えはないか。



夏季学習環境の向上を

**答** 内灘中学校では南校舎にある特別教室が構造上暑いとの指摘もあり、また新校舎の教室棟は、教室が廊下を挟んで2列に並び配列になっているため窓を開けても風が通りにくい環境である。  
現状を踏まえ、まずは内灘中学校の冷房設備実現に向けて、早い段階で整備できるように取り組んでいく。

**問** 今後連携が必要となってくる重要案件を聞かす。  
**答** 北部開発関連事業(仮称) 白帆台小学校建設計画など、まちづくりのさまざまな分野において着実に事業展開を図っていくため、国・県との連携が必要不可欠である。

## 県・国とのパイプ再生

**問** 町長の公約である「県・国とのパイプ再生」がこれまで町にもたらした実績は。

**答** 副町長や教育長を県から経験豊かで優秀な人材を迎え入れ、また県市町支援課へ職員を派遣し連携強化を図っている。  
公共事業は消防庁舎建設や浸水対策、県道融雪のほか、旭ヶ丘をはじめ公民館の改築など安心安全対策を重点に、地元選出の米田県議会副議長や県選出国会議員に財源確保を尽力いただいた。



北川 悦子 議員

# リフォーム助成の継続を 継続は考えていない



水道メーター検針

**問** 元気内灘住宅リフォーム助成制度の継続を願う声が多くある。町民に浸透してきたところで、経済効果もある。今回は、商工会に加入している業者に限定していたが、助成額と施工業者資格を見直し、継続できないか。

**答** 町商工会加入者が対象となっている。消費税の引き上げに伴う景気の腰折れを防ぐとともに、地域経済の活性化並びに住宅環境の向上を目的に実施したもので、その目的は達成した。本事業の来年度継続は考えていない。

## インターチェンジ

**問** 私がおこなったアンケートでは、「必要がない」「税金の無駄遣い」がほとんどで、白帆台住民からは、「静かな環境を」「子どもの安全が心配」と寄せられた。住民の声にどうこたえていくのか。

**答** 12月に地区住民を対象とした北部地区インターチェンジの整備計画と事業の必要性を説明し、理解をいただいた。説明会での意見を今後の計画に反映させ、北部地区の重要な事業としてしっかりと進めていきたい。

## 上下水道料金

**問** 上下水道料金の中で、基本水量の引き下げを願う声が多い。検討せよ。

**答** 一般家庭水道水の平均使用量の減少が続ぎ、厳しい経営環境となってきた。他市町の動向等も踏まえ検討していく。

## 子ども医療費

**問** 県議会予算委員会での質問で谷本知事は「窓口無料化を求める声は無視できない」とし、市町が自己負担を前提に窓口無料を選択した場合、今後は補助金を出す意向の答弁があった。県と協議をおこなったのか。

金沢市が無料化実施に踏み切った場合、実施する考えがあるか。

**答** 県の意見交換会では「各市町の動向や県の条例などを踏まえて検討する」が11市町、「具体的に検討している」が6市町「考えていない」が2市町であった。

現物給付は、自己負担なしでなければ運用は難しい。利用する医療機関が広域化し、県全体での実施が必要である。現在、町単独では考えていない。

### その他の質問項目

・落ち葉対策



元気いっぱいお芋ほり（北部保育所）



夷藤 満 議員

# 街なみ整備 積極的な指導を 来年度予算を国へ要望



拡幅された町道（向粟崎 2 丁目）

**問** 向粟崎街なみ環境整備の進捗が遅れている。国・県の整備方針からほど遠く、町が積極的に指導しなければ事業延長が認められない。来年度予算での事業費を示せ。

**答** 来年度は、これまで決まった道路線形箇所用地買収及び移転補償と一部道路の築造として、事業費3100万円を国へ要望している。

**問** 事業の完了を判断するのは誰か。

**答** 国・県の最終判断となる。

**問** 向粟崎の計画区域内にある幅員1・8m未満の道路のうち、改良予定の道路数は、計画図面で示されているか。

**答** 該当する道路は16本あり、1本が改良予定となっているが、現在は未着工である。

## 内灘海岸

**問** 町の魅力は何といっても内灘砂丘と海岸だ。新幹線開業を控え、海での事件・事故やゴミ問題を危惧する。

**答** 該当する道路は16本あり、1本が改良予定となっているが、現在は未着工である。



町民総出の海浜清掃

## 名誉町民

**問** 産学官連携でビーチクリーナー開発を金沢工業大学に依頼し、研究費を補助してはどうか。

**答** 来年度の協定書は千鳥台町会を初め許可権者である石川県などと十分に協議し、イメージダウンにつながるらないよう、調査研究したい。

**問** 産学官連携でビーチクリーナー開発を金沢工業大学に依頼し、研究費を補助してはどうか。

**答** 海岸清掃に最も効果的な重機の活用を研究し、専門的な知識を有する県内大学との技術開発や民間企業との協力を調査検討したい。

**問** 町名譽町民は、これまで何名に授与されているのか。また、資格はどのようなものか。

**答** 町名譽町民条例に「公共の福祉の増進、産業、文化の進展又は社会公益上に偉大な貢献をなし、その功績が顕著である本町住民又は本町に縁故の深い者」と記載されており、これまで5名に授与している。

**問** 顕彰や表彰は、対象となる方が元気なうちに渡してこそ価値がある。該当資格調査は毎年おこなっているのか。

**答** 継続的に情報収集に努めているが、名譽町民審議会は平成10年以降16年間開催していない。ふさわしい方がいれば、審議会開催など必要な手続をおこないたい。

# あなたの声を国へ意見書・請願の審査

教育予算の拡充を求める  
請願書

(継続に賛成9人、反対4人)

2回目

◎請願者

石川県教職員組合河北支部

執行委員長 酒井 一成

◎紹介議員 清水 文雄



討論

清水 文雄 議員

国の当初予算の関係から、12月会議で採択しないと、定期的に間に合わない。継続は否決を意味することになる。

「慰安婦」問題の早期解決を求める意見書」採択を求める請願書

(賛成3人、反対10人)

1回目

◎請願者

戦争をさせない石川の会

助 昭三

◎紹介議員 北川 悦子



北川 悦子 議員

女性の人権を無視した性奴隷制度にほかならず、日本軍が重大犯罪をした事実を歴史から消し去ることはできない。

討論

藤井 良信 議員

戦後約70年を経過した今、慰安婦問題に特化して解決を求めることが必要なのか。慎重な取り扱いを求める。

「特定秘密保護法の廃止を求める意見書」の採択を求める請願書

(賛成4人、反対9人)

1回目

◎請願者

戦争をさせない石川の会

助 昭三

◎紹介議員 北川 悦子



北川 悦子 議員

国家が強権的に情報を統制し、国民の言論、表現を抑圧することを目的とし、日本社会を暗黒社会へと逆行させる。

討論

藤井 良信 議員

国民の知る権利、報道の自由が法律の条文に明記され、不当な方法にあたらぬ限り、処罰の対象とはならない。

「集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し、閣議決定に基づく立法化を行わないことを求める意見書」採択を求める請願書

(賛成3人、反対10人)

1回目

◎請願者

石川憲法会議

菅野 昭夫

◎紹介議員 東 孝二



北川 悦子 議員

軍事介入の口実に使われ、容認の閣議決定は、アメリカの戦争のために日本の若者の血を流すことになる。

討論

藤井 良信 議員

与党をダークなイメージとするため、表題がすり替えられた。集団的自衛権行使容認の閣議決定という事実はない。

「日米軍事協力の指針(ガイドライン)再改定作業の即時中止を求める意見書」の採択を求める請願書

(賛成3人、反対10人)

1回目

◎請願者

戦争をさせない石川の会

助 昭三

◎紹介議員 北川 悦子



北川 悦子 議員

ガイドライン再改定は米軍と自衛隊が肩を並べて武力行使する上で具体的な行動要綱、作戦計画のもとになるものだ。

討論

藤井 良信 議員

今までどおり国民の生命、自由、幸福追求の権利を守るために、日米安全保障条約を基軸に考える必要がある。

# 追跡

あーりゃ～  
どうなったがいね～

一般質問のゆくえ

## 小学校で歌舞伎観賞会を実施せよ

グローバル時代において、子どもたちが日本の伝統文化に触れる歌舞伎鑑賞会の体験は大切だ。  
平成24年12月議会 藤井 良信 議員



### 積極的に検討

さまざまな助成制度を活用し、積極的に検討していきたい。



## 平成26年1月に開催

文化庁の助成事業を活用した「出前歌舞伎」が平成26年1月18日に役場町民ホールで開催されました。子どもたちは歌舞伎の化粧や着付けを体験した後、歌舞伎「手習子」を鑑賞しました。町では今後も、さまざまな日本の伝統芸能に触れる機会を設けたいと考えています。



伝統芸能を体験

## 全国大会出場に補助せよ

全国の晴れ舞台、何度も経験できるものではない。子どもたちの夢のために、全国大会に出場する選手や監督、コーチに補助せよ。  
平成22年9月議会 生田 勇人 議員



### 前向きに検討

スポーツのみならず学術、文化など、どんな助成が可能か前向きに検討したい。



## 平成24年度から助成開始

子育て支援ナンバーワンを標榜する町として、次代を担う子どもたちの夢や希望を応援し、スポーツの振興・普及を図る目的から、平成24年度から選手はもちろん、監督、コーチに係る交通費や宿泊費の補助を開始しました。



全国大会出場を報告

デート 中村 よしのぶ



街かどインタビュー

笑顔・みつけた



今回紹介する方は、  
大学にお住まいの  
かみで 勝之さんです。  
上出

◆内灘町に住んで何年になりますか。  
○内灘生まれ、内灘育ち、49才になりました。

◆子ども時代はどんな遊びをしていましたか。  
○今のように娯楽施設やゲームがない時代ですから、海や河北潟でよく遊んだのが思い出されます。

◆議会を傍聴したことはありますか。  
○議会広報モニターをしていたこともあり、議会だよりは必ず読んでいますが、残念ながら仕事で忙しく傍聴したことはまだありません。

◆日頃から取り組んでいることはありますか。  
○長年、少年柔道を指導しています。幼い頃から指導している子どもたちが、心身ともに成長していく姿が楽しみです。将来は内灘からオリンピック選手を輩出するのが夢であり、目標です。

◆議会を傍聴したことはありますか。  
○定数削減をしたことには賛同できる。これからは少数精鋭だからこそ、専門職としての立場で町のために取り組んでいただけることを期待します。

◆今後、町に望むことは。  
○家庭に負担をかけることなく、今まで以上に子どもたちがスポーツに取り組める環境を作ってほしい。

◆議会や議員、議会だよりに対して一言。  
○定数削減をしたことには賛同できる。これからは少数精鋭だからこそ、専門職としての立場で町のために取り組んでいただけることを期待します。



新年鏡開きで子どもたちと

インタビュー生田 勇人

議会を傍聴しませんか

6月から通年議会制度を試行しているため、次の本会議の開催日は町ホームページ、あるいは下記までお問い合わせください

議会事務局 TEL286-6715

編集後記

新しい年を迎え、町民の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて今年も統一地方選挙の年です。この4年間議会として町民の声を町政に反映できたのか、また議会だよりを通して、町民の皆様にも「正しく」「わかりやすく」お伝えできたのかなどを振り返り、新たなステップへと挑戦したいものです。

子どもたちに「夢」が持てる未来と、先人たちが残してくれた文化と歴史を後世につないでいけるよう、議会一同、町発展のためこれからも感謝の気持ちと努力をおこたえることなく精進してまいります。

〔中島 利美〕

広報対策特別委員会

- 委員長 恩道 正博
- 副委員長 中島 利美
- 委員 生田 勇人
- 委員 太田 臣宣

1部あたりの単価は33.8円です。

リサイクルペーパーを使用しています。

